

十六歳の少女

鳥かごの中の少女

一日たった十数分の自由時間

見守り役の私は

少女と共に 外へ出る

白い眩しさに目を細めた少女の唇は丸く動く

夏の匂いがする

ここはお寺が多いから

線香の匂い

ねえ 生き続ければきつといいことあるからね

私の唇は若い教師になる

わかってるよ 生涯まっとうするよ

ゆるんだ少女の口元 瞳は暗い海に沈む

ありがとうね

手紙書いたよ

ポケットにねじ込まれた勉強ノートの切れ端

ありがとう

明日 少女は北の鳥かごに移送される